

UIはここまで変わった 最新版 7.4までの進化を解説

ZABBIX '25
CONFERENCE
JAPAN



Zabbix Japan

Hayato Watanabe

Technical Support engineer

#ZCJ2025

PLAYER SELECT

0 0

PROFILE

Name	Hayato Watanabe
Country	Japan
Age	43
Sex	Male
Job	Technical Support
Blood Type	O
Hobby	Winter camp



HAYATO



質問
利用しているバージョンは？

現在サポートされているZabbix

- フルサポート: すべてのレベルのバグフィックス。機能改善要望への対応。
- リミテッドサポート: 深刻度の高いバグの修正。セキュリティフィックス

※ 延長サポート除く。

バージョン	リリース日	フルサポート終了	リミテッドサポート終了
Zabbix 8.0 LTS	リリース予定: 2026 1Q		
Zabbix 7.4	2025/7	8.0 LTS リリースまで	2026年7月以降予定
Zabbix 7.2	2024/12	2025/6	2025/12
Zabbix 7.0 LTS	2024/6	2027/6	2029/6
Zabbix 6.0 LTS	2022/2/15	2025/2	2027/2
Zabbix 5.0 LTS	2020/5/12	2023/5	2025/5

隣の新しい画面を見る
欲しくなる

隣の新しいおもちゃを見る
欲しくなる



5.0_(2020年) と 7.4_(2025年)
時代による変化

AIに聞いてみましょう

2020年と2025年で、監視に要求されることに違いはありますか？



とても良い質問です。



以下に、主な違いを
「技術」「目的」
「運用」という3つの
観点から整理します。

AIに聞いてみましょう

2020年と2025年で、監視に要求されることに違いはありますか？



とても良い質問です。



以下に、主な違いを「技術」「目的」「運用」という3つの観点から整理します。

技術面の違い

項目	2020年頃	現在
監視対象	オンプレと仮想マシン	コンテナ(k8s) クラウドサービス SaaS
データ	メトリクスとログ	メトリクス ログトレース
収集方式	Agentベース	Agentレス API OpenTelemetry

AIに聞いてみましょう

2020年と2025年で、監視に要求されることに違いはありますか？



とても良い質問です。



以下に、主な違いを「技術」「目的」「運用」という3つの観点から整理します。

目的・価値観の違い

項目	2020年頃	現在
目的意識	障害を検知して復旧する	予兆を捉える
監視立場	IT運用の一部	可観測性 経営 開発 SRE
成功指標	MTTR(復旧時間)短縮	SLO/SLA UX維持 コスト最適化

- SREのデータ基盤として必要
 - SLOが守られている？
 - 遅延の発生元は？
 - なぜ信頼性が損なわれた？

AIに聞いてみましょう

2020年と2025年で、監視に要求されることに違いはありますか？



とても良い質問です。



以下に、主な違いを「技術」「目的」「運用」という3つの観点から整理します。

運用面の違い

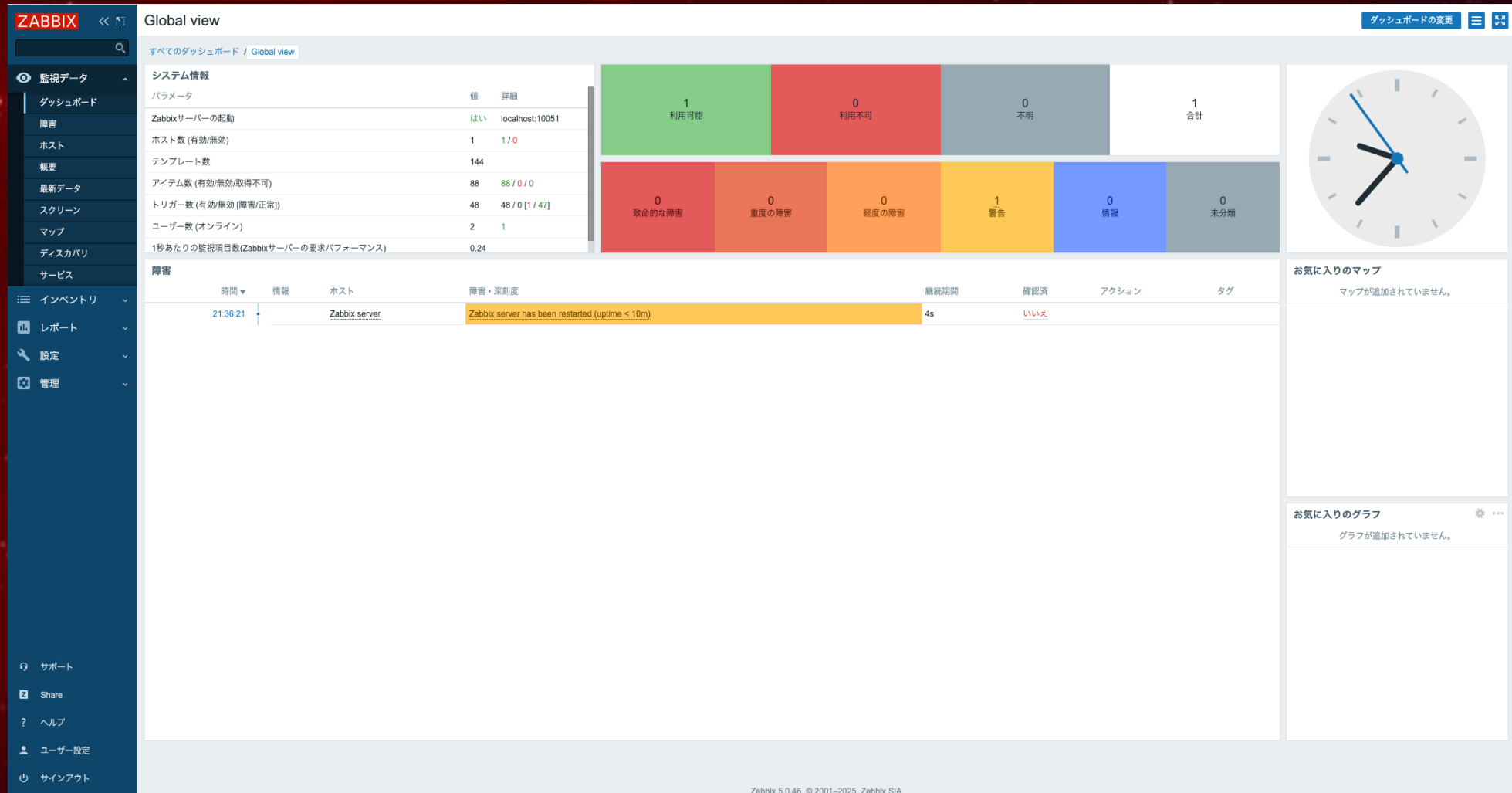
項目	2020年頃	現在
可視化	固定ダッシュボード	動的・目的別レビュー

- 充実したダッシュボード
 - 多彩なウィジェット
 - ウィジェット間の連携
 - 複数のダッシュボード作成

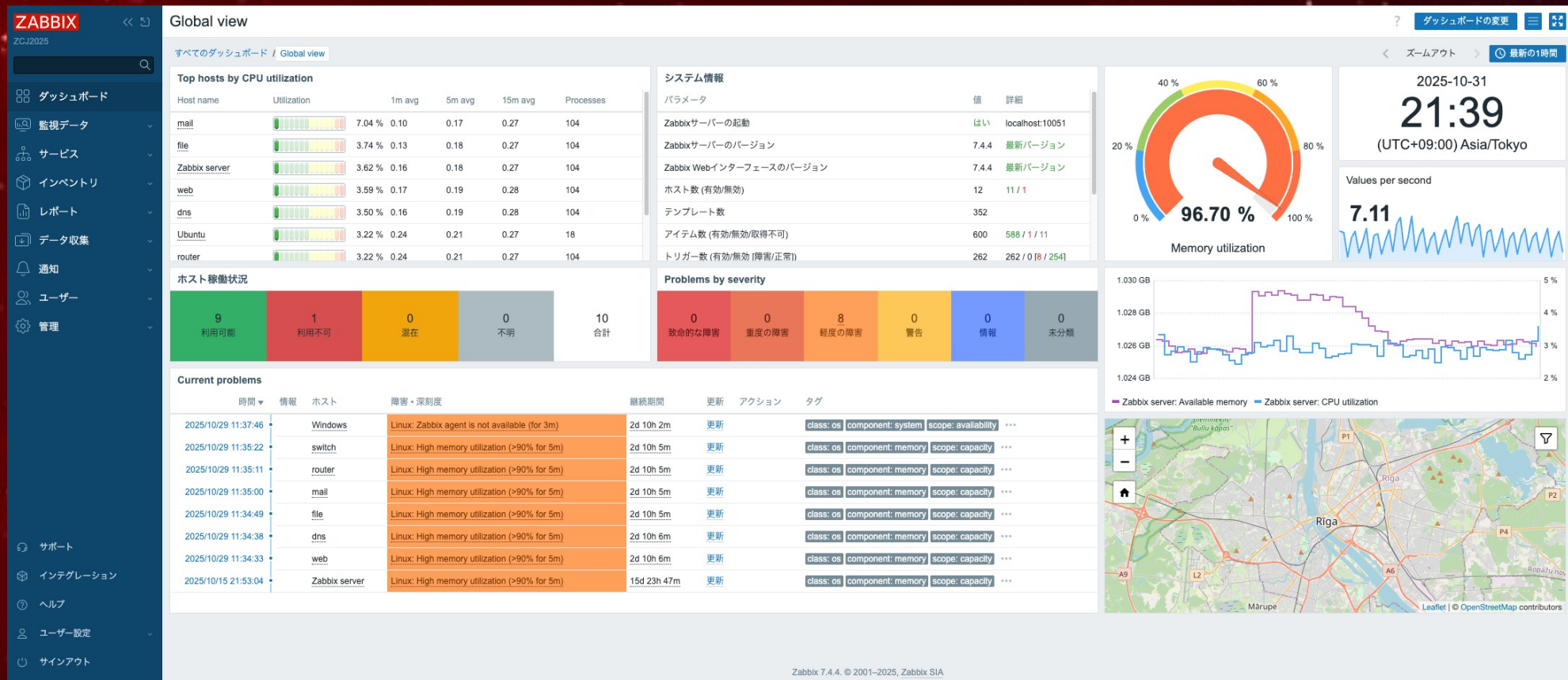


5.0 から 7.4 UIの進化を知る

Zabbix 5.0 LTSのダッシュボード

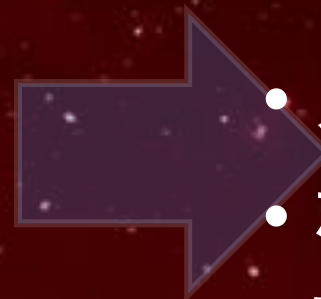


Zabbix 7.4 のダッシュボード

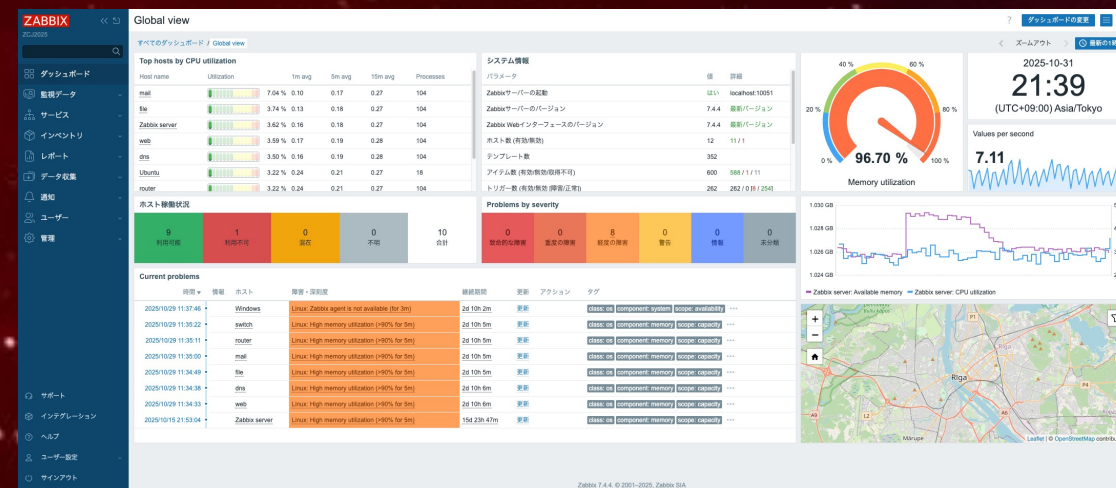
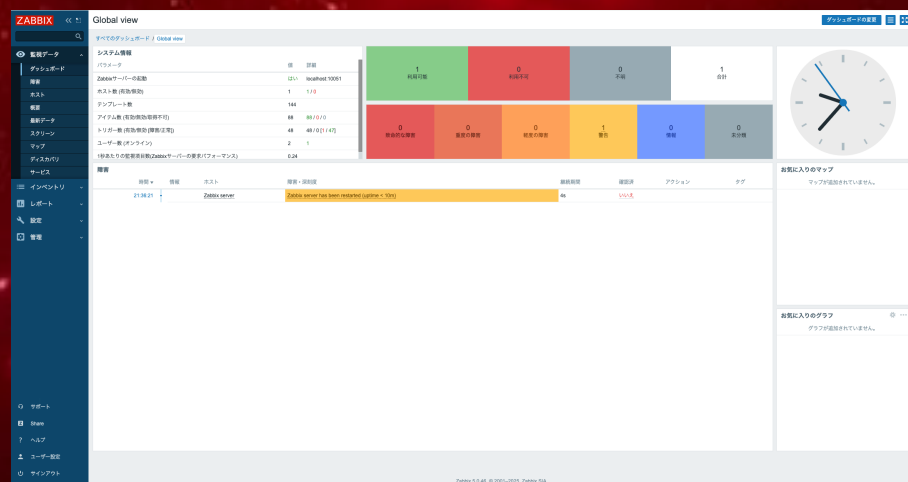


あまり違いは無い？

- シンプルな表示は 🧑
- グラフが中心 
- なにが「障害か」
- 画面確認 → 管理者



- 多彩なウィジェット
- メトリクスの相関、把握
- なぜ「障害か」
- 画面確認 → OP、チーム



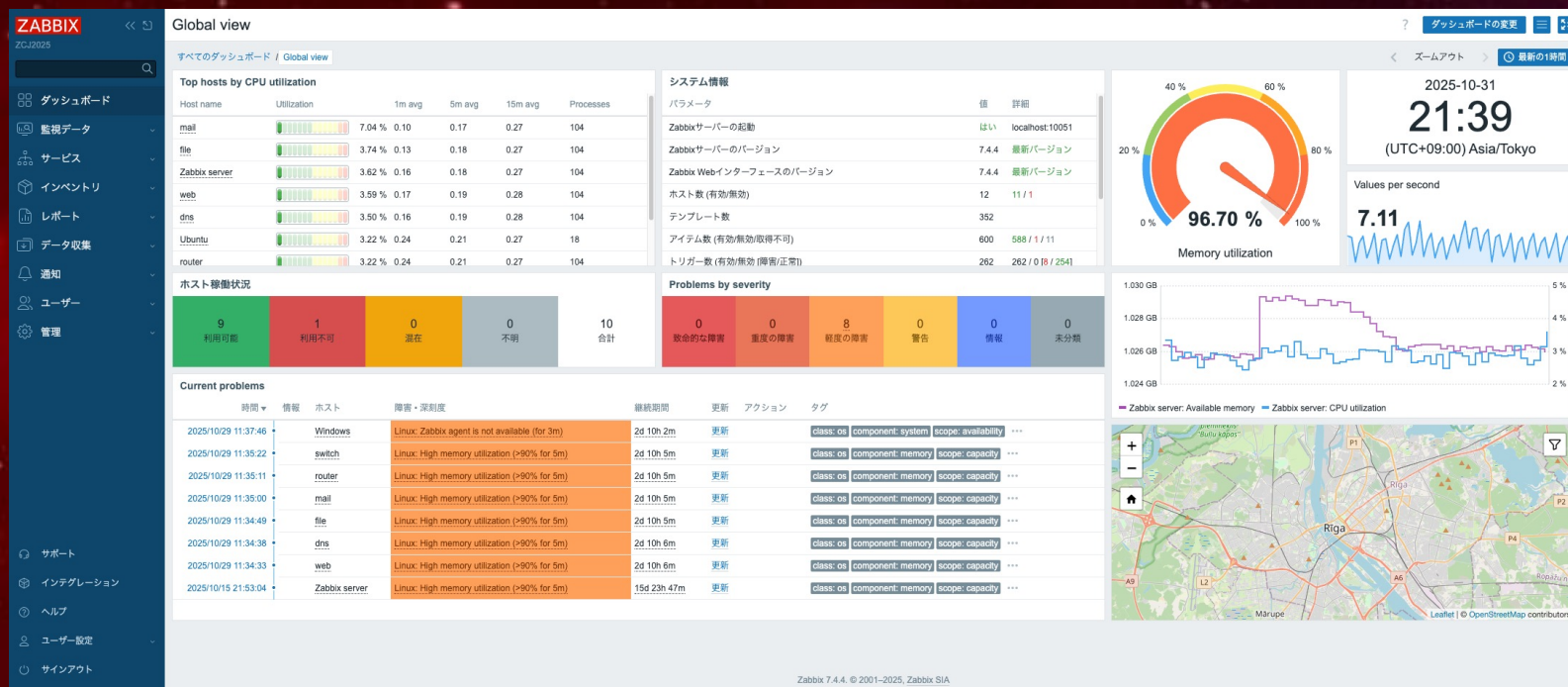
多彩なウィジェット

メトリクスの相関、把握

なぜ「障害か」

画面確認 → OP、チーム

- ハニカム
- ゲージ
- 上位ホスト
- アイテムの値
- 地理マップ
- など、32ウィジェット
- 独自開発も可



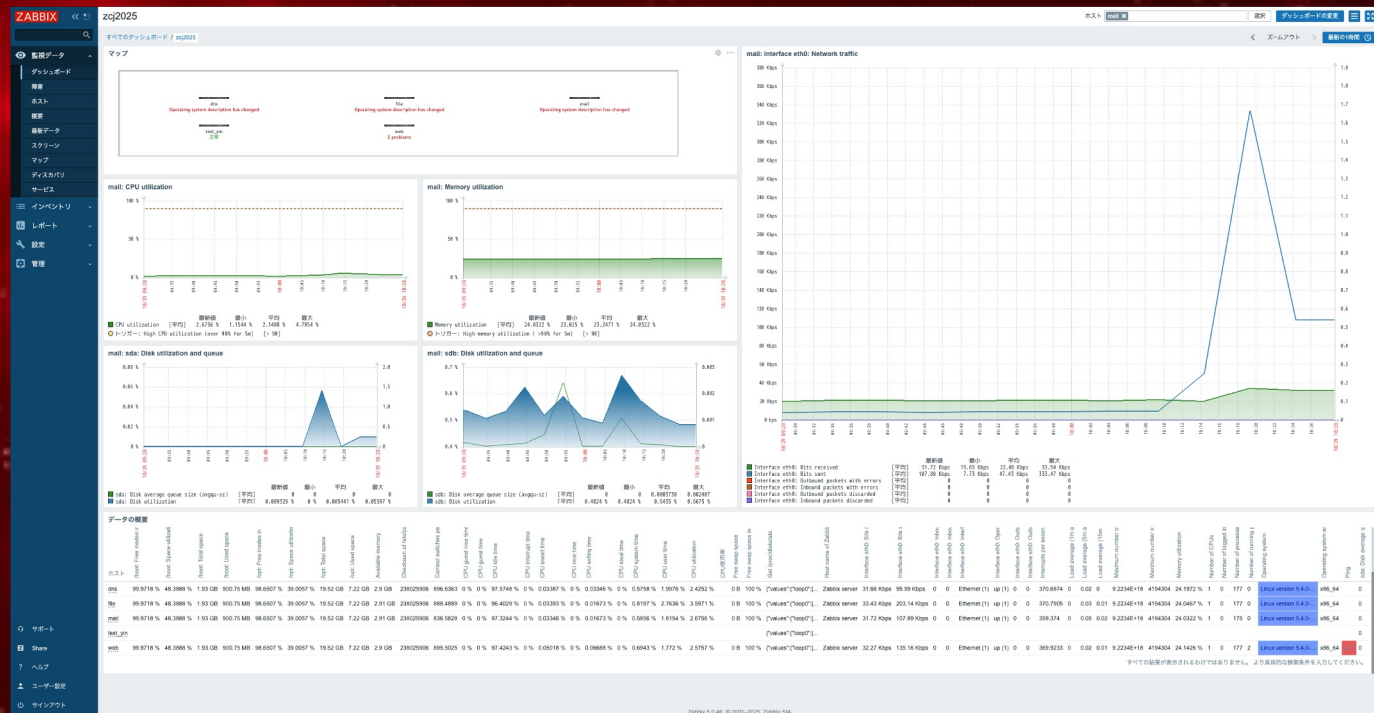
多彩なウィジェット

なぜ「障害か」

メトリクスの相関、把握

画面確認 → OP、チーム

- 多彩なウィジェットを使用した相関 (Zabbix 5.0の場合)
例: ホストの「リソース使用率」一覧を表示



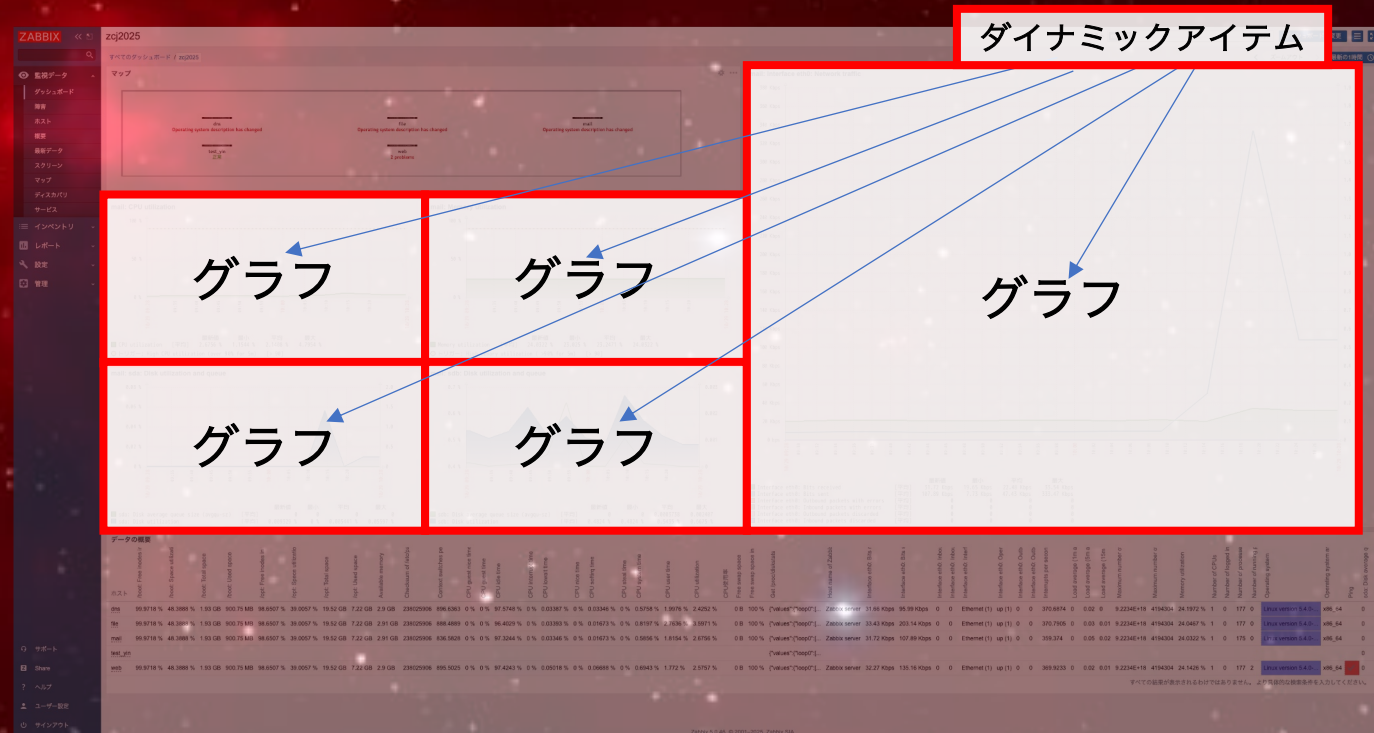
多彩なウィジェット

メトリクスの相関、把握

なぜ「障害か」

画面確認 → OP、チーム

- 多彩なウィジェットを使用した相関 (Zabbix 5.0の場合)
- ダイナミックアイテムでホストからアイテムを切り替え



多彩なウィジェット

なぜ「障害か」

メトリクスの相関、把握

画面確認 → OP、チーム

- 多彩なウィジェットを使用した相関 (Zabbix 7.0以上の場合)
- 動的、目的別のビュー



多彩なウィジェット

メトリクスの相関、把握

なぜ「障害か」

画面確認 → OP、チーム

- 「何が障害か」から「なぜ障害か」
 - これまでの依存関係や障害一覧画面
 - タグで障害発生要因の集約
 - 副次的な要因や抑止設定による根本障害原因を選択
 - ダッシュボードで相関するウィジェットを作成
 - Zabbixで増えた取得方法による多角的な問題点の判断

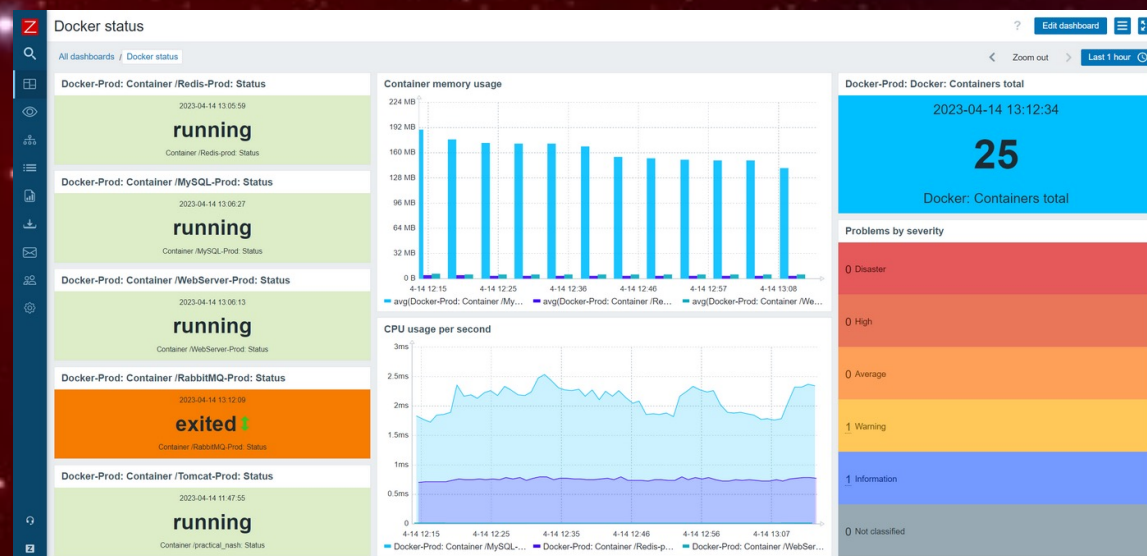
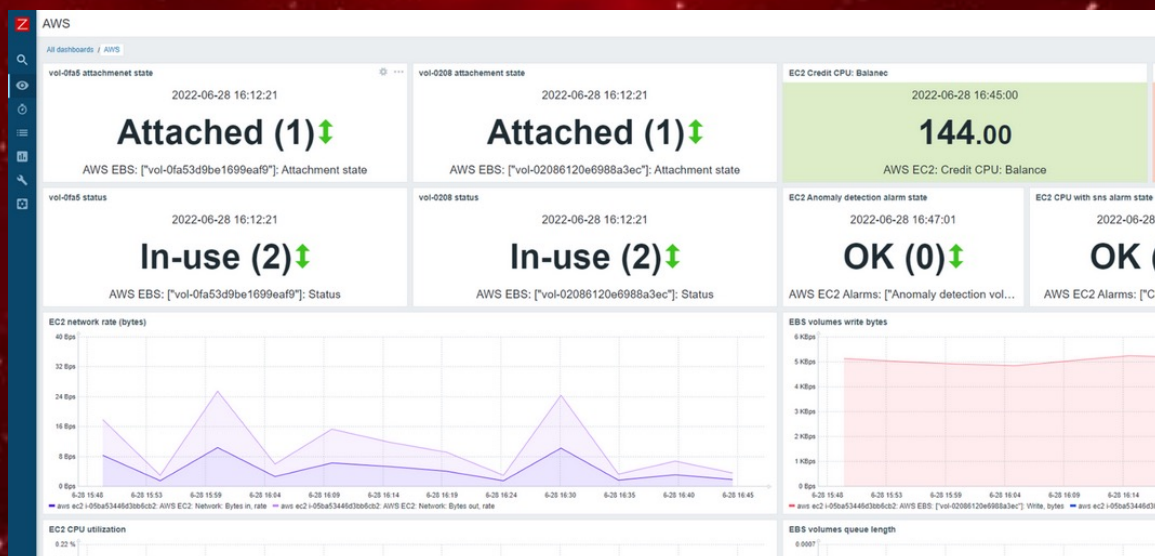
多彩なウィジェット

なぜ「障害か」

メトリクスの相関、把握

画面確認 → OP、チーム

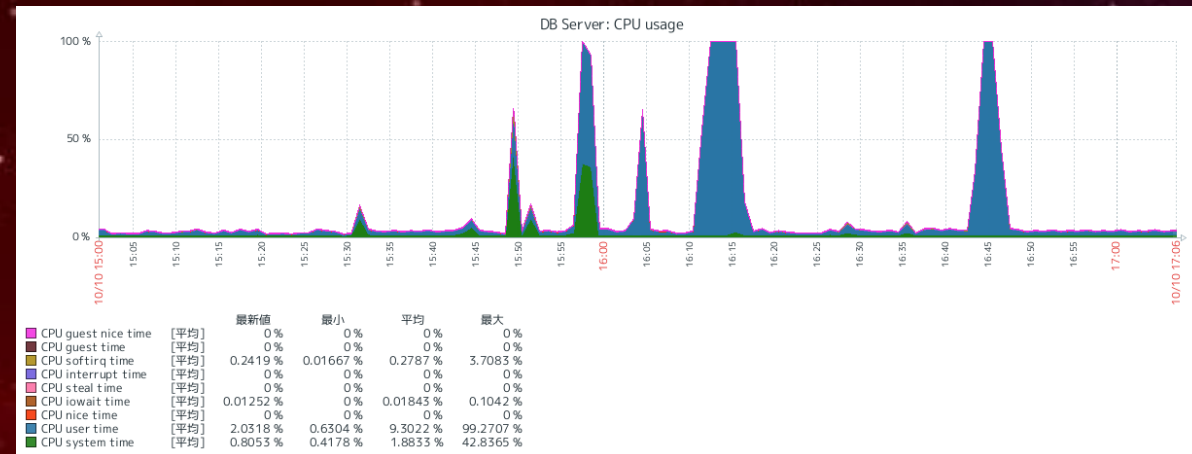
- ・クラウド監視やコンテナ監視
- ・開発や運用を行うインフラエンジニア、各チームがそれぞれの画面を参照
- ・ページを切り替え、NOCが1つの画面を全員で共有
- ・既存のウィジェットも、運用に効果的なウィジェットに改善



ウィジェットの特性と改善

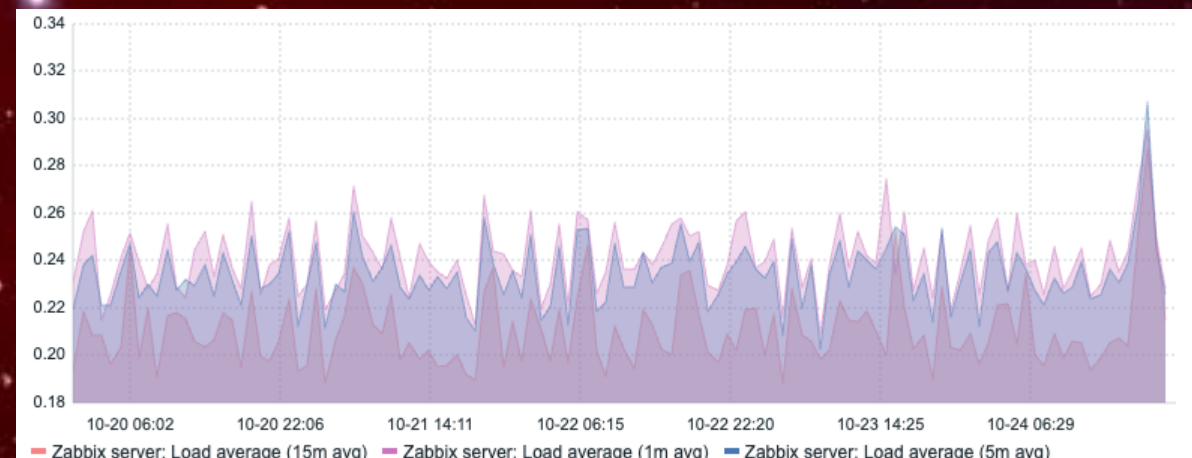
グラフ

- グラフ(クラシック)
 - ✓従来のグラフを表示
 - ✓テンプレート設定を流用可能
 - ✓設定が簡単
 - ✓他のウィジェットと連動



グラフ(クラシック)

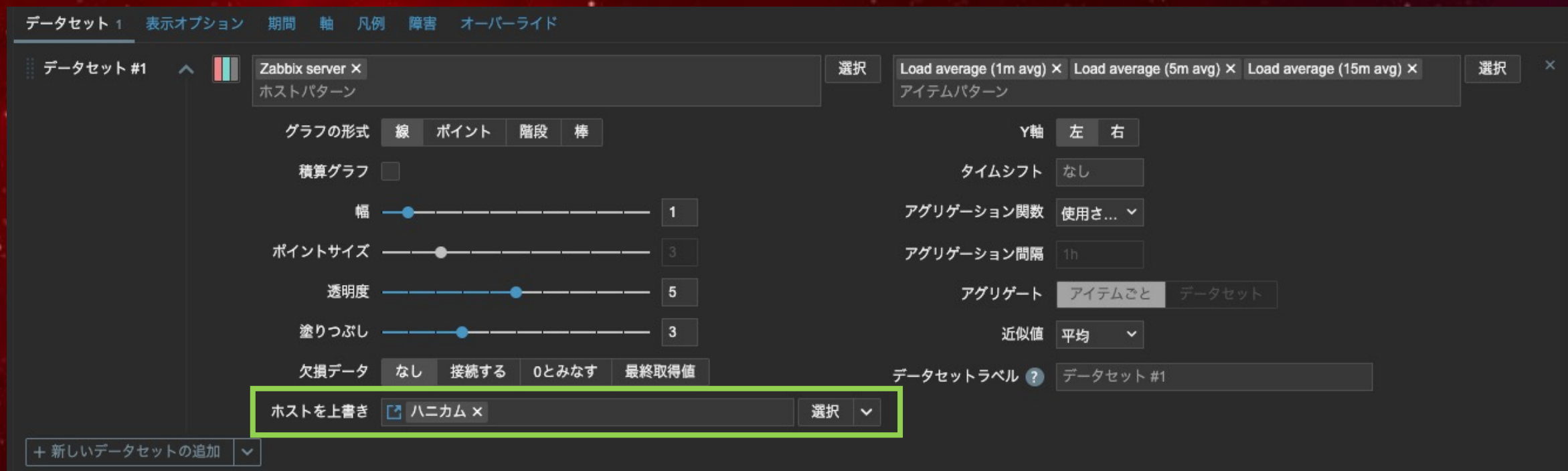
- グラフ
 - ✓ベクター画像を表示
 - ✓ワイルドカードで複数アイテム表示が簡単
 - ✓他のウィジェットとの連動機能がなかった



グラフ

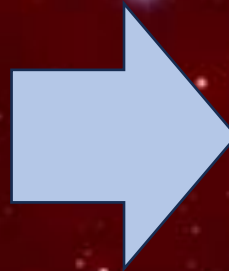
Zabbix 7.4以降の グラフウィジェット

- 「ホスト上書き」追加
 - ✓ハニカムやホストナビゲータと連動
 - ✓ダッシュボード専用の美しいグラフを動的に変更
 - ✓8.0 LTSでも利用可能 (予定)



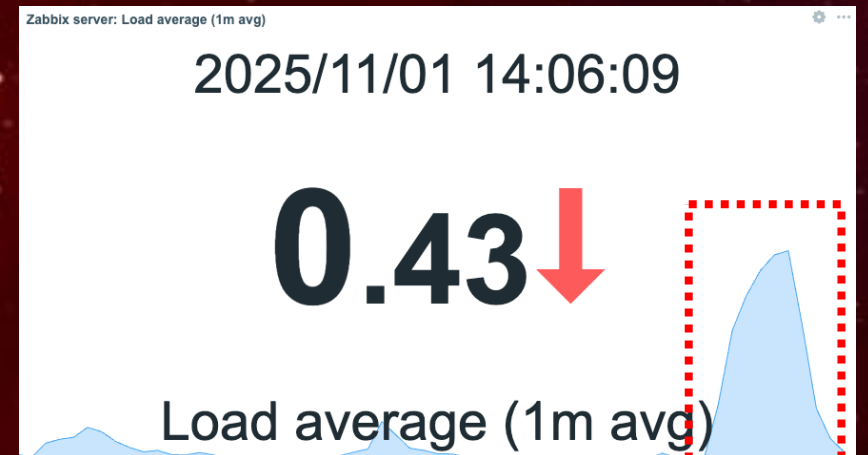
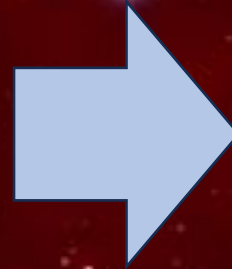
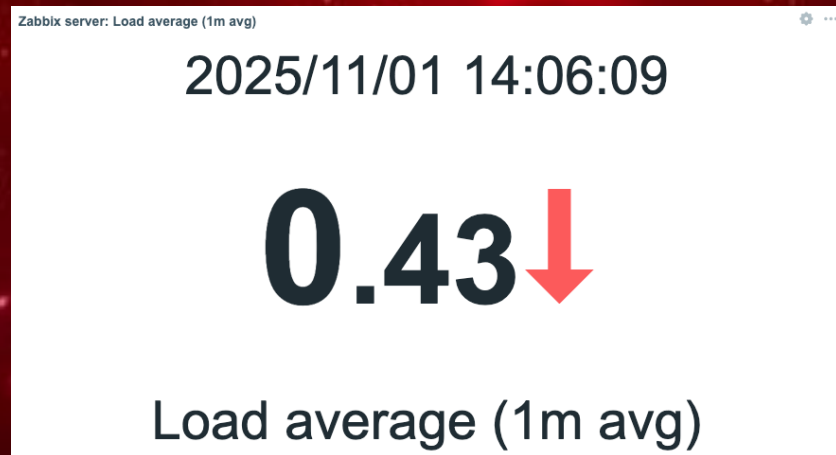
ホストを上書き

- ダッシュボードや他のウィジェットと連動
 - ✓ 2つのグラフとグラフのプロトタイプ
 - ✓ アイテムの値
 - ✓ アイテムのヒストリ
 - ✓ アイテムカード
 - ✓ ゲージ



スパークラインチャート

- 過去の履歴情報を簡易的に表示
 - アイテムの値
 - 上位アイテム
- 簡易的な過去情報から状況全体をダッシュボード表示



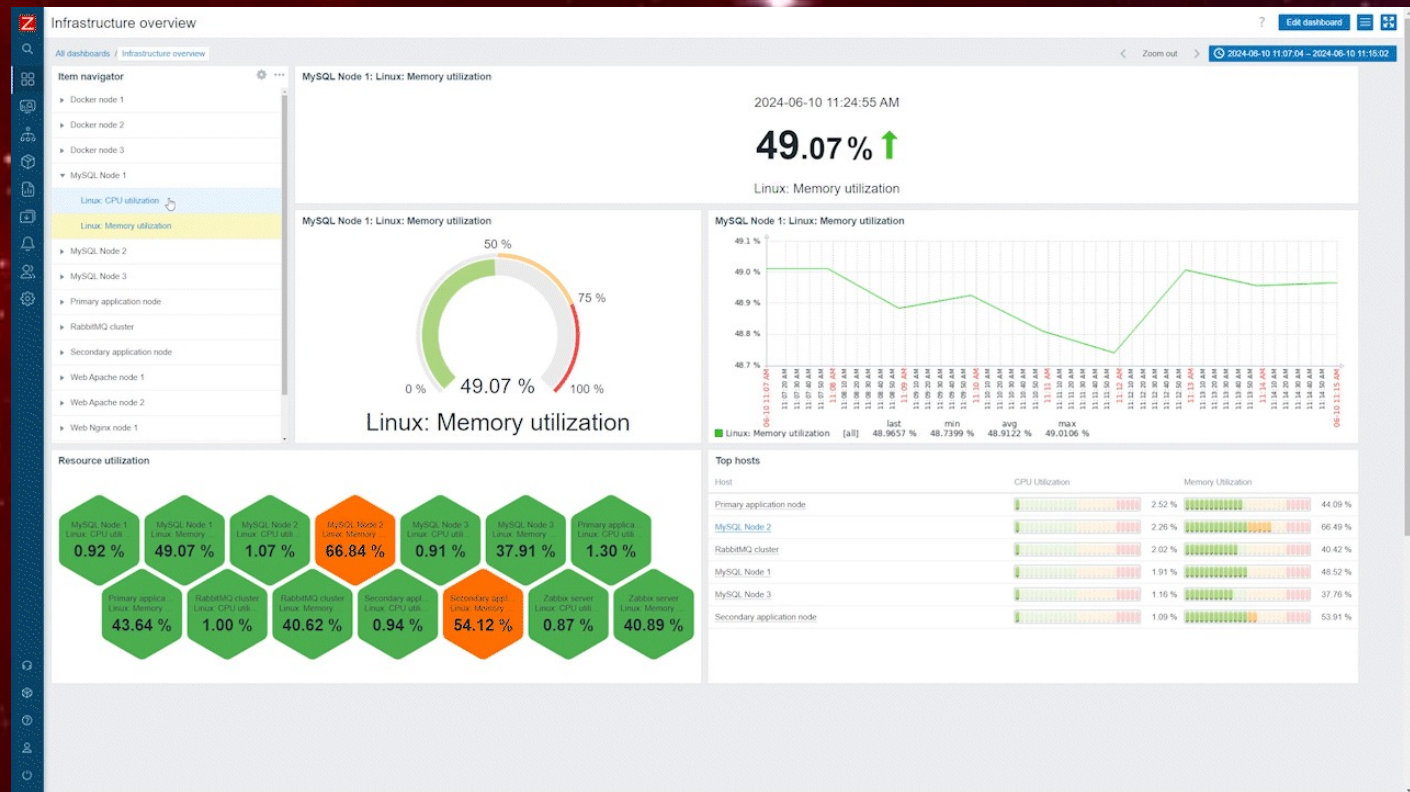
アップグレードで期待できるUI

- ・「静」から「動」

- ・個人 「+ チーム」

- ・多彩なメトリクス
 - ・収集量→多彩な表示

- ・直感で操作



ホストの初期設定も直感的に

Zabbix 7.4 ホストウィザード

- ・監視対象を登録するナビゲーション
- ・従来のホスト作成機能も利用可

The screenshot displays the Zabbix 7.4 Host Wizard interface. The sidebar on the left contains navigation links: ダッシュボード, 監視データ, サービス, インベントリ, レポート, データ収集, テンプレートグループ, ホストグループ, テンプレート, ホスト, メンテナンス, イベント相関関係, ディスカバリ, 通知, and ユーザー. The top navigation bar includes 'ホストウィザード' (highlighted with a red box), 'ホストの作成', and 'インポート'. The main content area shows the 'ホスト' (Host) configuration page. It includes form fields for 'ホストグループ' (Host Group), 'テンプレート' (Template), '名前' (Name), 'DNS', 'IPアドレス' (IP Address), and 'ポート' (Port). There are also buttons for '選択' (Select) and '適用' (Apply). The right side of the page shows the 'ステータス' (Status) section with buttons for 'すべて' (All), '有効' (Active), and '無効' (Inactive). Below this is a table of hosts. The table has columns for '名前' (Name), 'アイテム' (Items), 'トリガー' (Triggers), 'グラフ' (Graphs), 'ディスカバリ' (Discovery), 'Web', 'インターフェース' (Interfaces), 'プロキシ' (Proxies), 'テンプレート' (Templates), 'ステータス' (Status), 'エージェントの状態' (Agent Status), 'エージェント暗号化' (Agent Encryption), '情報' (Info), and 'タグ' (Tags). The table lists one host: 'ddns-pi' with a status of '有効' (Active) and a ZBX icon.

名前 ▲	アイテム	トリガー	グラフ	ディスカバリ	Web	インターフェース	プロキシ	テンプレート	ステータス	エージェントの状態	エージェント暗号化	情報	タグ
*** ddns-pi	アイテム 98	トリガー 32	グラフ 20	ディスカバリ 3	Web	192.168.0.6:10050		Template App Noip2, Template Consul by Zabbix agent active, Template Module ICMP Ping, Template OS Linux by Zabbix agent (Template Module Linux block devices by Zabbix agent, Template Module Linux CPU by Zabbix agent, Template Module Linux filesystems by Zabbix agent, Template Module Linux generic by Zabbix agent, Template Module Linux memory by Zabbix agent, Template Module Linux network interfaces by Zabbix agent, Template Module Zabbix agent), Template Raspberry PI aqua temperature, Template Raspberry pi	有効	ZBX	なし		

Zabbix 7.4 ホストウィザード

- 監視対象を登録するナビゲーション
- 従来のホスト作成機能も利用可

ZABBIX << 検索

ホスト

ホストウィザード

ホストの作成 インポート

フィルター

ホストグループ 検索文字列を入力

選択

ホストウィザードへようこそ

ホストウィザードは、Zabbixで監視対象(デバイス、アプリケーション、サービスなど)を設定するのに役立ちます。

データ収集 > ホスト からいつでもホストウィザードにアクセスできます。

☐ "ようこそ画面"を表示しない

キャンセル 次

ステータス エージェントの状態 エージェント暗号化 情報 タグ

有効 ZBX なし

agent, Template Module Linux network interfaces by Zabbix agent, Template Module Zabbix agent, Template Raspberry PI aqua temperature, Template Raspberry pi

Zabbix 7.4 ホストウィザード

テンプレートを選択: Linux by Zabbix agent ホストの作成または選択 あと少しの手順

一部のテンプレート (269) はホスト ウィザードと互換性がありません。こちらを確認してください。 [更新方法](#) カスタム テンプレートはサポートされません。

テンプレートを選擇

テンプレートとは、監視対象に合わせて設計された、事前定義された構成 (収集するメトリック、アラートを生成する条件など) のセットです。

Linux

テンプレートを検索するためにキーワードを入力してください。

データ収集 エージェントモード

すべて エージェントを利用 エージェントレス すべて アクティブ パッシブ

テンプレート

Os (2)

Linux by Zabbix agent ☒

Linux by Zabbix agent active ☐

タグ

class: os target: linux

▼ 表示を増やす。

キャンセル 次

テンプレートを選擇: Linux by Zabbix agent ホストの作成または選擇: Ubuntu (新規) あと少しの手順

ホストの作成または選擇

選擇したテンプレート (Linux by Zabbix agent) は、監視対象を表す Zabbix 内のエンティティであるホストにリンクされている必要があります。

ホストは、管理とアクセス制御を容易にするためにホスト グループに編成されます。

* ホスト名

Ubuntu (新規) × 選擇

入力を開始するか、"選擇" をクリックして既存のホストを選擇するか、新しいホスト名を入力します。

* ホストグループ

Linux servers × 選擇

検索文字列を入力

入力を開始するか、選擇 をクリックして既存のホスト グループを選擇するか、新しいホスト グループ名を入力します。

キャンセル 戻る 次

テンプレートを選擇: Linux by Zabbix agent ホストの作成または選擇: Ubuntu (新規) Zabbixエージェントをインストール ホストインターフェースを追加 ホストの設定

Zabbixエージェントをインストール

選擇したテンプレート (Linux by Zabbix agent) では、監視対象にZabbixエージェントがインストールされ、実行されている必要があります。

Zabbixエージェントがすでにインストールされている場合は、OSの選擇をスキップします。

1. Zabbix サーバー、プロキシ、またはスレーブのアドレスを確認する。

192.168.11.188

例: 192.0.2.0:10051, [2001:db8::1]:10051, zbx1.local:10051;zbx2.local:10051

3. 監視対象のOSを選擇してください

Linux ☒

Windows ☐

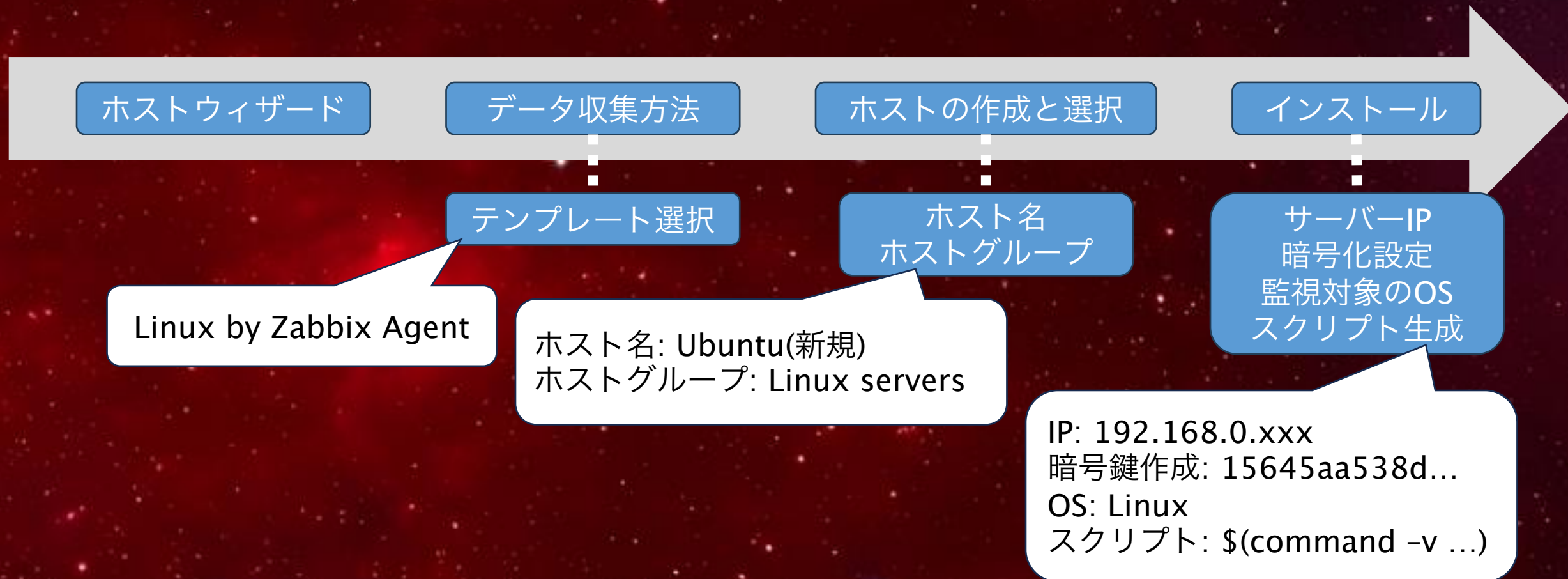
その他 ☐

4. 次のスクリプト[root下のbash]を実行して、監視対象にZabbixエージェントを設定します。

```
$(command -v curl || echo $(command -v wget) -O -)
https://cdn.zabbix.com/scripts/7.4/install-zabbix.sh | bash -s -
--server-host '192.168.11.188' --hostname 'Ubuntu' --psk-identity 'Ubuntu PSK' --psk 15645aa538df5799ef6975c7a89e68e0cb8d84ebf37c5f5e6849255b4231519a
```

キャンセル

Zabbix 7.4 ホストウィザード フロー例



Zabbix 7.4 ホストウィザード フロー例

- 生成されるエージェントインストール用のスクリプト
 - 出力されたスクリプトを監視対象の機器で実行

```
$(command -v curl || echo $(command -v wget) -O -) https://cdn.zabbix.com/scripts/7.4/install-zabbix.sh | bash -s -- -- server-host '192.168.0.xxx' --hostname 'Ubuntu' --psk-identity 'Ubuntu PSK' --psk 15645aa538df5799ef6975c7a89e68e0cb8d84ebf37c5f5e6849255b4231519a --2025-10-15 13:45:37-- https://cdn.zabbix.com/scripts/7.4/install-zabbix.sh
...
```

- ガイドに従いホストの登録と監視が完了

補足: ホストウィザードのお気に入り部分

- エージェントインストール用のスクリプトは単体で利用可能
※2025/11/7現在: Zabbix 7.4用しかありません

ZABBIX Zabbix Cloud Images and Appliances

Zabbix is an enterprise-class open source distributed monitoring solution designed to monitor and track performance and availability of network servers, devices and other IT resources. It supports distributed and WEB monitoring, auto-discovery, and more.

Zabbix appliances are available on Google Cloud Platform along with previously released Zabbix appliances, Microsoft Azure, DigitalOcean and Amazon Web Services. Zabbix is now available on all major cloud platforms.

These appliances are created and officially supported by Zabbix SIA.

Installation instructions are available in [Zabbix Cloud Images](#) page.

If you have any problems or suggestions, please report an issue on [Zabbix Bug Tracking System](#).

If you want to get professional support, installation or upgrade service, please see our [Zabbix technical support service](#) page.

Index of /scripts/7.4/

./	03-Jul-2025 06:54	6066
install-zabbix.ps1	24-Sep-2025 13:49	15592
install-zabbix.sh		

© 2001-2025 Zabbix SIA. All right reserved. [Trademark Policy](#)

<https://cdn.zabbix.com/scripts/7.4/>

補足: ホストウィザードのお気に入り部分

- エージェントインストール用のスクリプトは単体で利用可能
※2025/11/7現在: Zabbix 7.4用しかありません

```
install-zabbix.sh
1  #!/bin/bash
2  function show_help
3  {
4      echo "Usage:"
5      echo "  $(basename ${BASH_SOURCE[0]}) (--install|--reinstall) [--agent|--agent2] [--version X.Y] [<configuration options>]"
6      echo "  $(basename ${BASH_SOURCE[0]}) --configure [--agent|--agent2] [<configuration options>]"
7      echo "  $(basename ${BASH_SOURCE[0]}) --uninstall [...]"
8      echo ""
9      echo "Options:"
10     echo "  One of four modes can be selected --install, --reinstall, --configure, --uninstall"
11     echo "  --install          : Install Zabbix agent or agent 2 and write values to its configuration file."
12     echo "  --install mode includes --configure mode."
13     echo "  --uninstall        : Purge Zabbix from the system."
14     echo "  --configure         : Write values to agent or agent 2 configuration files."
15     echo "  --reinstall         : Combines --uninstall and --install options."
16     echo "  Default mode is --install"
17     echo ""
18     echo "  --agent | --agent2  : Select which Zabbix component to install."
19     echo "  --version X.Y       : Select which Zabbix version to install. Default: $default_zabbix_version"
20     echo ""
21     echo "<configuration options>:"
22     echo "  --server-host <str> : Value for Server and ServerActive fields."
23     echo "  --server-host-stdin  : Same as --server-host, but prompt for the key using stdin."
24     echo "  --psk <key>         : Enable PSK encryption and setup the key."
25     echo "  --psk-stdin         : Same as --psk, but prompt for the key using stdin."
26     echo "  --psk-identity <str> : PSK identity to go with the PSK key."
27     echo "  --psk-identity-stdin : Same as --psk-identity, but prompt for the key using stdin."
28     echo "  --hostname <str>    : Set Hostname value."
29     echo ""
30     echo "  --repo-url <URL>    : Override default repo url. Default: $default_repo_url"
31     echo ""
32 }
33
34 function run
35 {
36     #
37     # parse arguments
38     #
39
40     local mode=' '
41     local default_zabbix_version=7.4
42     local zabbix_version=$default_zabbix_version
43     local components=' '
44     local uninstall=false
45     local server_host=' '
```


まとめ



時代によって提供されるサービスが変われば、監視に要求されるものも変化します。



監視ツールも、これまでの機能を踏襲しつつ新しい機能を実装し続けることが必要です。つまり、提供し続けられるソフトウェア。



ZABBIX 20 YEARS

